

キャラクター名	プレイヤー名
梓弓 紅(あずさみ べに)	

シンドローム	モルフェウス サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	31 %
出自	結社の一員	経験	裏切った	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	3	1	3			7	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウエボン(100%↓)	白兵	7r+4	3	8		白兵武器 (100%↓)
インフィニティウエボン(100%↑)	白兵	7r+4	3	9		白兵武器 (100%↑)
パーニング・レッド・フレイム(100%↓)	白兵	6r+4		14		
パーニング・クリムゾン・フレイム(100%↑)	白兵	6r+4		17		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	6	3			

所持品		合計装甲:	3	合計回避:	0
コネ: UGN幹部					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
「ライトニングボルト」桐生嘴矢	P 友情	N 不安			
結社員	P 尽力	N 恐怖			
裏切った相手	P 友情	N 悔悟			
霧谷雄吾	P 誠意	N 猜疑心			
越見孝仁	P 信頼	N 恐怖			
東川入鹿	P 幸福感	N 劣等感			
能都拍	P 親近感	N 不安			
最大財産P:	8	残り財産P:	1		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	SR	-	
効果: C値-LV(下限値7)								
インフィニティウエボン	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果: 白兵武器を作成。攻撃力LV+7。								
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果: 装甲無視。ダイス-1個								
氷の回廊	1	2	マイナー	至近	自身	-	-	
効果: 戦闘移動。飛行状態で+ [LV×2] m。								
炎の刃	3	2	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果: 攻撃力+ [LV×2]								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「はーあ。ベンキョーつつつてもさ、オレたちは戦わされるだけだろ。なんでこんなことさせられてんだよ」
「なあお前もそう思うだろ、“ライトニングボルト”。オレたちこのままずっと、ここで誰かのために戦い続けるのかな」
「……お、見てみるよライトニングボルト！これなんかかけー漢字！コーシ？って読むのか」
「『ものごとのほじまり』『最初』か……そうだ！これお前の名前にしようぜ！“ライトニングボルト”ってなげーなーっていつも思ってたんだよ」
「お前が『最初』になるんだ。『最初の自由』に！オーヴァードだって普通のやつらみたいにならないうちでゲームしたりスポーツしたり、コーラ飲んだりできるって。お前が証明するんだよ」
「押し付けんなって？……じゃあオレも手伝ってやるよ。二人で、それから皆で自由になるんだ」
「コーシ、だと名前っぽくないな。この漢字、『や』って読むんだろ？この前覚えたからな！」
「じゃあ、お前は今日からコーヤ。嘴矢だ！ははっ、なんだよ。いい名前だろ？」

生まれてすぐに実親に捨てられたが、犯罪組織に拾われて育てられ、幼いころは身体が小さいことを利用して同じような子供と一緒に敵組織に侵入し重要なデータや試薬などを盗むといったことをさせられていた。
善悪の判断がつかないうちはなんとも思っていなかったが成長するにつれ疑問を抱くようになり、自分たちは何をさせられているのかと尋ねたところ「知る必要はない。ただ逆らったら殺す」と言われた。
とある組織に侵入した際、敵に見つかり一緒に潜っていた同い年くらいの仲間が捕まった。死の恐怖に逆らえず仲間を置いて逃げたが、遠くから聞こえる仲間の断末魔であろう叫び声を聞いた瞬間に覚醒、敵組織を破壊してしまった。そして騒ぎに駆け付けたUGNの人間たちに保護され、チルドレン教育施設『ホーム』で育てられることとなった。

ホームでは特に、年の近かった“ライトニングボルト”によくちょっかいをかけていた。もしかしたらウザがられていたかもしれないが紅にとっては一番の友人、